

建設ICT導入研究会 全体概要

目的: 建設プロセスにおいてICTを駆使し、効率化・高度化による生産性・行政サービスの向上、現場技術力の強化を図る

会長: 中部地方整備局長

副会長: 中部地方整備局企画部長

技術顧問:

マネジメント委員会

第三者的立場から導入技術の評価、研究会の運営評価を行う。

- 導入技術の評価
- 研究会の運営評価
- 研究会規約変更、プロジェクトメンバ加入の審査

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ○名古屋工業大学大学院
山本 教授 | ○土木研究所 技術推進本部
山元 主席研究員 |
| ○名城大学
鈴木 名誉教授 | ○日本建設情報総合センター
松浦 CALS/EC部長 |
| ○国土交通省技術調査課
山田 課長補佐 | ○日本建設機械化協会
松隈 専務理事 |
| ○国土交通省建設施工企画課
森下 企画専門官 | ○中部地方整備局
工藤 企画部技術調整管理官 |
| ○国土技術政策総合研究所
藤本 高度情報化研究センター長 | ○中部地方整備局
安田 中部技術事務所長 |

事務局

整備局職員、各プロジェクトチームの代表者により構成し、導入研究会の全体運営を行う。

- 研究会の運営
- 各チームのとりまとめ
- 広報広聴

事務局長: 中部地方整備局 企画部技術調整管理官

- | | |
|----------|-------------|
| ○中部地方整備局 | ○技術普及チーム代表者 |
| | ○現場支援チーム代表者 |
| | ○技術研究チーム代表者 |

プロジェクトチーム (取組方針案)

建設ICTに関する技術普及、現場支援、技術研究を実施し、チーム一丸となって目的の達成を目指す。

技術普及チーム

【普及検討】

- 建設ICT普及戦略の策定
- 建設ICT技術者の育成プログラム策定
- 講習会、現場見学会の開催
- 建設ICTのPR(建設ICT専用サイト、要素技術PR、会員Mail)

【ヘルプデスク】

- サテライト会員、施工現場等からの相談窓口

現場支援チーム

【現場支援】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ○情報化施工技術支援 | ○施工データの管理及び活用支援 |
| ○情報化施工による施工管理支援 | ○建設ICTモデルの現場支援 |
| ○情報化施工の現場検証 | ○建設ICTツールの調達の仕組み構築 |

技術研究チーム

【3次元測量設計モデル検討】

- 視覚化による業務の高度化・効率化(求められる機能)検討
- 測量・施工・維持管理との連携検討
- 要素技術研究(ソフト関係)
- 基準(設計・フォーマット等)検討

【情報共有モデル検討】

- | | |
|--------------|-------------------|
| ○監督検査の改善方策検討 | ○書類の簡素化方策検討 |
| ○施工管理の改善方策検討 | ○基準(内容・フォーマット等)検討 |

【情報化施工モデル検討】

- | | |
|-----------------|--------------|
| ○監督検査の効率化の仕組み検討 | ○品質・安全への影響検討 |
| ○施工性向上の仕組み検討 | ○施工データの活用策検討 |

サテライト会員

建設ICTに関する技術向上、現場適用に努める。

- 建設ICTの習得
- 現場への積極的導入
- 建設ICTニーズの把握

建設ICT導入研究会（会員構成）

会員総数 178者（H20.11.21時点）

会長: 中部地方整備局長
副会長: 中部地方整備局企画部長
技術顧問:

マネジメント委員

第三者的立場から導入技術の評価、研究会の運営評価を行う。

名古屋工業大学大学院 山本 教授	土木研究所技術推進本部 山元 主席研究員
名城大学 鈴木 名誉教授	日本建設情報総合センター 松浦 CALS/EC部長
国土交通省技術調査課 山田 課長補佐	日本建設機械化協会 松隈 専務理事
国土交通省建設施工企画課 森下 企画専門官	中部地方整備局 工藤 技術調整管理官
国土技術政策総合研究所 藤本 高度情報化センター長	中部地方整備局 安田 中部技術事務所長



事務局

整備局職員、各プロジェクトチームの代表者により構成し、導入研究会の全体運営を行う。

事務局長:
中部地方整備局 技術調整管理官

中部地方整備局	現場支援チーム代表者
	技術普及チーム代表者
	現場支援チーム代表者

サテライト会員

○建設ICTの習得 ○現場への積極的導入
 ○建設ICTニーズの把握

会員数:127

建設企業:100	開発企業等:5
コンサルタント:1	その他:6
団体等:5	局内職員:10

プロジェクト会員 計 75者(延べ) 51者(重複除き)

技術普及チーム 代表幹事：中部地方整備局企画部施工企画課 25者
 講習会等の開催や技術者育成プログラムの策定により、技術の普及を目指す。

【普及検討WG】 講習会等の開催や技術者育成プログラムの策定、建設ICTのPR活動を行う。

(株)NIPPOコーポレーション	(株)中村組	鹿島道路(株)	日本道路(株)	太啓建設(株)
中部土木(株)	大成ロテック(株)	(株)建設技術研究所	アジア航測(株)	日本工営(株)
(株)トヨトミ	(株)小松製作所	(株)建設システム	(株)ニコントリプル	(株)ティーネットジャパン
(株)ビーイング	中部建設青年会議	(社)中部建設協会	(財)日本建設情報総合センター	(社)日本建設機械化協会
(株)日刊建設通信新聞社	(独)土木研究所	国土技術政策総合研究所	三重県公共事業運営室情報化グループ 伊藤 好幸	中部地方整備局

【ヘルプデスク】 サテライト会員、施工現場等からの相談窓口となる。

現場支援チーム 代表幹事：中部地方整備局企画部工事品質調整官、中部技術事務所 15者
 建設ICTモデル事業の技術的支援や現場指導、現場検証を行う。

(株)NIPPOコーポレーション	(株)熊谷組	鹿島道路(株)	(株)加藤建設	(株)渡邊組
(株)市川工務店	(株)トヨトミ	(株)建設システム	(株)ニコントリプル	西尾レントオール(株)
(株)ティーネットジャパン	(株)ビーイング	(社)中部建設協会	(社)日本建設機械化協会	国土技術政策総合研究所
中部地方整備局				

技術研究チーム 代表幹事：中部地方整備局企画部技術管理課 35者
 建設ICT導入の課題、技術基準等の研究、建設生産システム全体のモデル研究を行う。

【3次元測量・設計モデルWG】 3次元測量・設計技術について要素技術の研究や、基準(設計・フォーマット等)の研究を行う。
【情報化施工モデルWG】 情報化施工についての要素技術の研究や、有効活用方策の研究を行う。
【情報共有モデルWG】 情報共有による施工・監督・検査の改善方策や、各種基準等の研究を行う。

(株)NIPPOコーポレーション	(株)大林組	吉川建設(株)	中井土木(株)	(株)熊谷組
鹿島道路(株)	西松建設(株)	日本道路(株)	鈴中工業(株)	大成建設(株)
清水建設(株)	前田建設工業(株)	大成ロテック(株)	(株)建設技術研究所	(株)近代設計
アジア航測(株)	中部復建(株)	八千代エンジニアリング(株)	(有)セクトコンサルタント	福井コンピュータ(株)
(株)建設システム	ジオサーフ(株)	ライカジオシステムズ(株)	(株)ジェッセ	(株)ビーイング
(株)トプコン販売	アイサンテクノロジー(株)	(株)ベントレー・システムズ	(社)中部建設協会	(財)日本建設情報総合センター
(社)日本建設機械化協会	(財)先端建設技術センター	(独)土木研究所	国土技術政策総合研究所	三重県公共事業運営室情報化グループ 伊藤 好幸
中部地方整備局				

●○基本スケジュール

- ・研究会の活動期間は、2年間を目標とする

《平成20年11月～平成22年12月まで》

- ・総会の開催は、年2回を予定

《春・秋》

- ・プロジェクト会議の開催は、年3回を予定し、

ICT(情報通信技術)を駆使し、効率的・効果的に活動を行う

(スケジュール案)	H20.10-12	H21.1-3	H21.4-6	H21.7-9	H21.11-12	～ H22.12
モデル事業	順次公告	(第1弾) 現場開始	(第2弾) 手続開始	現場検証	検証結果 モデル継続	モデル終了 以後、本格化☆
研究会	11月設立	普及活動 技術者研究 現場支援 モデル研究 課題研究	普及活動 技術者育成 現場支援・検証 モデル試行 課題研究	普及促進 技術者育成 現場支援・検証 モデル試行 基準検討	技術者育成 現場検証 モデル検証 基準提唱	モデル構築 基準確定 研究会終了☆